

令和3年

# 雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和3年6月17日～6月22日】

令和3年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/17(木) 9時30分～	17／藤原 信宏	一括	1～3	11	6/21(月) 9時30分～	16／細田 実	一問一答	24～25
2		13／原 祐二	一問一答	3～4	12		6／梶谷 佳平	一問一答	25～26
3	6/17(木) 13時00分～	10／中林 孝	一問一答	4～5	13	6/21(月) 13時00分～	2／安田 栄太	一問一答	26～27
4		11／松林 孝之	一問一答	5～7	14		3／児玉 幸久	一問一答	27～30
5		18／矢壁 正弘	一問一答	7～10	15		7／宇都宮 晃	一問一答	30～33
6	6/18(金) 9時30分～	14／白築 俊幸	一問一答	10～12	16	6/22(火) 9時30分～	8／上代 和美	一問一答	33～35
7		4／上代 純子	一問一答	12～15	17		12／中村 辰眞	一問一答	35～38
8	6/18(金) 13時00分～	1／多賀 法華	一括	15～20	18	6/22(火) 13時00分～	15／周藤 正志	一問一答	38～39
9		9／足立 昭二	一問一答	20～22					
10		5／鶴原 能也	一問一答	22～24					

令和3年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和3年6月16日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	藤原 信宏 (一括)	1. 病気予防対策 (検診の勧め)につ いて  2. 学校教育問題に ついて	<p>(1)がん検診の受診率が極めて低い。また国保被保険者の特定検診受診率は、伸びてきてはいるが県内では最低レベルである。検診の受診率向上に向け、受診環境や成功事例を研究する必要はないか。</p> <p>(2)大腸がん検診にあっては、地域自主組織などと協働した取り組みを行われたが、その成果はあったか。</p> <p>(3)国保加入者の人間ドックの受診定員枠を拡充できないか。</p> <p>(4)できうればオプション検査を含めた特定検診とがん検診をセットにして、一日で検査項目全てが受診できるように望むところだ。胃がんと同様に、肺がん検診も特定検診と同時実施できないか。</p> <p>(5)市立病院で行う「複数のがんのリスクを評価するアミノインデックス AICS 検査」は、人間ドックのオプション検査はもとより外来などで呼びかけ、もっと奨励・普及すべきと考えるがどうか。</p> <p>(6)高額を負担を要し個人判断に委ねるしかないが、その判断材料にするため、高確率・高精度でがんを判別するマイクロアレイ血液検査並びに PET-CT 検査の有効性、評価についての見解を伺う。</p> <p>(1)社会の厳しさを厳しく教える教育の必要性について 信頼される教師の条件は、人間的な温かさと厳しさを併せ持つことだ。優しく丁寧に子どもに接するのは良いが、いずれ子ども達には厳しい社会が待っている。社会の変化が激しさを増す中、児童生徒が未来を生き抜くには、学校教育で困難を乗り越える力を身に付けることが益々重要になってきた。</p> <p>①厳しさを増す社会の困難を乗り越える力を身に付けるため、「厳し</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 国道 54 号 4 車三 刀屋拡幅について	<p>さを厳しく教える教育」は、どのように行っているのか。併せて、その必要性についての所見を伺う。</p> <p>②厳しい指導には普段からの信頼関係が欠かせない。子どもに信頼され、温かさの中に厳しさがある優れた指導力と使命感を持つ教師を育成するため、どのような研修や取り組みが行われているか。</p> <p>(2) わいせつ行為で処分される教員は増加の一途にある。立場・関係性を悪用し、児童生徒の生涯に極めて深刻なダメージを与える非道な加害行為を断じて許さない、再び教壇に戻してはならない。</p> <p>①教員の自覚を促す研修や実態調査、子ども自身が身を守る方法を学ぶ、できるだけ他の教員らの目が届く所で相對する等、被害を防ぐ環境づくりに教委・学校はどのような対策を講じているか。</p> <p>②各地の教育委員会によって処分に差があるのは問題である。わいせつ行為が立証されれば即免職、免許はく奪が庶民感情だが、教育長の見解を伺う。また島根県教委では非行事例に対応した処分量定が定まっているか。わいせつ行為は原則懲戒免職とする規定を定めるべきと考えるがどうか。</p> <p>③現在、他県での懲戒処分歴について、詳細に分かる体制はできているか。</p> <p>④先般成立した「教員による性暴力防止法」に対する所感と、データベースの活用や県教委への進言など「わいせつ教員を原則、復帰させない対応」について伺う。</p> <p>(1) 三刀屋拡幅第 4 期工事の用買補償手続きはいつまで続くのか、工事着手・完了の予定はいつか。</p> <p>(2) この度の整備計画区間の分離帯構造はどうなったのか。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 第三セクターについて	<p>ついて所見を問う。</p> <p>(3) 職員のコロナ感染時における、コロナ接触確認アプリの活用状況を問う。</p> <p>(4) マイナンバーカードや行政アプリの活用状況、今後の行政のデジタル化への取り組みについて、市長の所見を問う。</p> <p>(1) 本市が出資する、第三セクターの目的・意義を問う。</p> <p>(2) 出資する会社への委託業務等の状況(内容・契約額)と経営状況等を問う。</p> <p>(3) 第三セクターの公共性・公益性以外の事業について、どのように捉え、そのリスクをどう考えているのかを問う</p>	
3	10	中林 孝 (一問一答)	1. 新型コロナ対策について  2. 脱炭素社会の実現にむけて	<p>(1) 市役所で2回目のコロナ患者が確認された。感染原因は何か、職員規律に問題はなかったか。</p> <p>(2) 高齢者から順次進められているワクチン接種は順調か。今後の摂取計画、完了予定について伺う。</p> <p>(3) コロナ禍で苦しむ産業への本市の対策は十分かつ適切に進められているか。</p> <p>脱炭素社会実現は全世界的な課題。先般、改正地球温暖化対策推進法が国会で成立した。また、政府は2050年の温室効果ガス排出ゼロの実現に向け、菅総理大臣はその中間点となる2030年度に「13年度比46%減」とする目標を表明している。</p> <p>(1) この法案並びに政府目標は本市にどのような影響があるか、また、それに対し本市としてどのような対策や準備が必要となるか。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーは将来有望なエネルギー源とされる。様々な再生可能エネルギーに本市としてどう取組むか。合意形成や関係</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 人口増に向けた 取り組みについて	<p>機関との連携、財源、条例等の整備について伺う</p> <p>(3) 脱炭素社会に向けた動きが本市の産業(林業、製造業など)に与える影響、それに対し本市としてどのような取組を行うか。</p> <p>(4) 今夏に国が改定を予定している「エネルギー基本計画」では総発電量に占める電源構成の見直しが予想される。本市はどのような対応方針で臨むか。</p> <p>本市の最大の課題は人口減少対策と考える。どう対策を進めるか。</p> <p>(1) 本市の人口減少には歯止めがかからない。原因を何と捉え、改善に向けどう処方箋を描くか。</p> <p>(2) 3月議会で「若者が住み続けたくなる＝雲南プライド」という答弁があった。その思いをどのような方法で実現化させるか、具体策を伺う。</p> <p>(3) 人口増加には雇用を確保するためには産業の育成を図り、宅地や住宅の提供、子育て環境や教育の充実など多くの基盤整備が欠かせないが、どのように進めるか。</p> <p>(4) 雲南市土地開発公社の住宅用地の在庫がゼロ、工業団地の在庫もゼロ、これで定住対策が進められるか？</p> <p>(5) 2大プロジェクトは人口増に寄与するか。人口増につながるプロジェクトは他にないか。</p> <p>(6) 立地適正化計画と人口増への取り組みをどう結び付けるか、絵を描くのは市長だ。どのような方針で計画策定を進めるか</p>	
4	11	松林 孝之 (一問一答)	1. 経済界との繋が りについて	<p>(1) 市長就任から4か月が経過し、いよいよ石飛カラーの市政運営に市民の期待が膨らむ。</p> <p>① コロナの終息が見えず全国的に低迷する経済の中、市内誘致企業</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. コロナ支援策の柔軟対応について</p> <p>3. 山林の可能性について</p>	<p>の存在は地域経済の振興と雇用に大きな影響を与える。関係性を保つことは大変重要であるが、新市長として企業訪問の状況は。</p> <p>②本市経済界の外資獲得と内資循環拡大に対する市長のビジョンを伺う。</p> <p>③神原企業団地2期工区の誘致活動状況は。</p> <p>市役所本庁舎でもクラスターが発生し、市民の不安はより一層高まると同時に市内経済は最悪の状況に陥っている。</p> <p>(1) 4月専決の雲南市継続支援事業給付金は、概ね予定通り推移しているが、消費喚起・販売促進活動等支援事業は低迷しているが、要因と今後の展開は。</p> <p>(2) 様々な市内飲食店への支援策を講じられているが、夜間往来の不便さも出控えの要因となっていることも事実である。補完するためにはタクシーの夜間運航が必要であるが稼働していない。タクシーの深夜人件費補助施策を考慮してはどうか。</p> <p>市の面積の80%が山林の本市は、山との関わりは重要である。コロナの蔓延により、田園回帰や地方移住がより注目され、今こそチャンスの時である。</p> <p>(1) 市長はこのタイミングをどう捉えているのか所感を伺う。</p> <p>(2) 林業が直面する課題は。</p> <p>(3) 輸入木材の品薄の状況で建築業界に影響が出ている。県産材、市産材にとっては追風であり、今こそチャンスである。長期的スパンで供給できる仕組みを構築すべきでは。</p> <p>(4) 山が荒れないことが有害鳥獣対策の大きなポイントであるが、農業施策と林業施策のコラボでもっと強力な事業展開はできないか。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5)森林環境贈与税は、森林に関する施策のハード、ソフト両方に使える有効な財源である。来期以降の歳入増が見込まれるが、検討状況は。</p> <p>(6)都会地で林業に興味を持ち「週末林業体験」として山に入る若者が増えている。市内でも林業に従事する若いスタッフの雇用と育成が積極的に行われている。地元出身の若者はもちろん、都会地からのUIターン者へのアプローチは今がチャンスである。当施策に特定地域づくり事業協同組合制度を導入し、積極的な展開をすべきでは。</p> <p>(7)広大な面積である山林整備は、本来、国策として管理されるべきであるが、霞が関の机上では実態はつかめない。県や国と繋がりを強固なものにし、雲南市の大事な資源である山林と大きな可能性を秘めている林業に力を注ぐべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
5	18	矢壁 正弘 (一問一答)	1. 脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーの取り組みについて	<p>(1)太陽光発電について</p> <p>①脱炭素社会の電力のあり方について、化石燃料を使用した発電から再生可能エネルギーへの切り替えが大きな課題となっている。本市は電力の供給が長時間に渡って停止した際の対応をどのように考えているのか伺う。</p> <p>②本市は太陽光発電設備設置経費の一部補助を行っているが、再生可能エネルギーへの切り替えのために補助件数を増やす考えはないのか伺う。</p> <p>③太陽光発電システムと同時に設置する蓄電設備については県費で対応されているが、市独自での補助の考えはないのか伺う。</p> <p>④現在、太陽光発電を初期費用0円で設置できる0円ソーラーという仕組みがある。本市として、取り組む考えはないか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市産材の利用促進について	<p>⑤農水省は、農村地域でソーラーパネル設置など再生可能エネルギーの積極的な導入に向け、荒廃農地の転用規制を緩和する。本市内において転用可能な農地はどの程度あるのか伺う。</p> <p>⑥本市として荒廃の農地を積極的に活用していく考えはあるのか。</p> <p>(2)本市においては、過去に小水力発電への検討が行われたが発電施設を設置できる場所が無いという結論に達している。その後、小水力設備の技術も進歩し設置できる場所もあると思われるが、再度検討してみる考えはないか伺う。</p> <p>(3)国は、脱炭素社会に向けた計画の中で、火力発電は縮小し原子力については計画の2割としているが、市長は太陽光発電等の再生可能エネルギーの割合を増やし、最終的には原子力に頼らない社会を目指すと言われていたが考えは変わらないか伺う。</p> <p>(4)平成31年に地域新電力会社設立に向けた「再生可能エネルギーと電力小売事業によるエネルギー高度化調査・検討事業」が実施された。その後の経緯について伺う。</p> <p>(1)国は、「公共建設物等における木材の利用促進に関する法律」を制定し、民間の住宅など一般建築物への木材の需要を拡大することを決定した。本市も市産材の利用促進を図るため、「雲南市木材利用促進事業」を制定し、住宅を新築される方への支援を行っているが、市産材を使用したくても供給が追いつかない状況にある。現状の解決に向けた考えを伺う。</p> <p>(2)市産材が不足する理由として、切り出しに費用がかかり製品にしても外材より割高になることが原因と聞いた。市産材の利用促進は、市内の森林整備の要になりうる事業なので、森林環境譲与税を活用</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. ドローンの利活用について</p> <p>4. 通学の交通安全対策について</p>	<p>し川上(木材の切り出し)から川下(住宅建設)までの総合的な支援が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)市・県発注工事には製材 JAS 規格が必要とされ、持っていないと非常に厳しい品質管理が求められる。市内には JAS 規格を取得している製材所は希少だ。市発注工事については緩和措置できないか伺う。</p> <p>(4)市発注の木造構造物を建設する際に木材の乾燥にも JAS が要求される。各事業所で乾燥施設を計画される話を聞くが、支援はできないか見解を伺う。</p> <p>(5)ウッドショックによる市内発注工事、製材業者への影響は。</p> <p>(1)多くの分野でドローンが活躍している。物流の分野でも環境省・国交省連携で「過疎地域における小型無人機を使用した配送実用化推進事業」が進められている。まだ実証実験の段階だが、島根県でも美郷町がドローンによる物流実用化調査を実施している。買い物難民が多い中山間地域での物流には適していると思われるが検討してみてもは。</p> <p>(1)以前の質問で通学路途中にある押しボタン式信号機の危険性を質した。先日、同じ信号機で青信号で横断しようとした児童の直前を車が通り過ぎるといふ事案が発生した。以前の質問の後きちんと対応されたのか見解を伺う。</p> <p>(2)路面標示についても、3D 道路標識やイメージランプ(ソリッドシート)等紹介したがその後の状況は。また、キッズゾーンの整備についてはどのような状況になっているのか伺う。</p> <p>(3)中学校進学にあたり自転車通学をする生徒が多数いると思われ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>る。2020年から2021年にかけて道路交通法の一部が改正され、自転車についても改正された。生徒達への安全指導の現状を伺う。</p> <p>(4)全国的に子どもたちが加害者となる自転車の事故が多発している中には多額の損害賠償を請求されたケースがある。本市内は自転車での通行が可能な歩道が多く、事故の可能性があるが自転車保険への加入は考えられているのか伺う。</p>	
6	14	白築 俊幸 (一問一答)	1. 除雪対策について	<p>(1)除雪対応について</p> <p>①今冬の除雪については、当地の幹線道路である広域農道の除雪が夕方になっても掻いてないこともあったが、今年の除雪体制に問題があったのか。</p> <p>②木戸道の除雪については、市の管理対象ではないとされているが、市民生活を守る住民福祉の観点からは、市として何らかの対応をすべきではないか。</p> <p>(2)除雪ボランティアについて</p> <p>①このボランティア制度の対象は市道及び付随する歩道であるが、実際にボランティアで市道の除雪を行うとなると、市の計画と調整をしないとイケないと思うが、事前に組み込まれているということか。</p> <p>②1つの制度、システムを作っても、条件の違う地域にマッチするとは限らない。周辺地域の積雪地帯では、対象となる市道は市でやってもらっているのに、ボランティアの出番がない。課題は、木戸道の除雪である。これらを対象にできるよう制度の改正を行うべきではないか。</p> <p>③ボランティア制度登録者は、町部では結構あるが、吉田町1、掛合</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 高齢者緊急通報システムについて</p> <p>3. 地域振興について</p>	<p>町はゼロとのことであった。地元では、消防 0B で木戸道を実際に行っており、制度改正を期待して、今年、応募している。だめなら、取下げるしかないが、その気持ちを無駄にしないで欲しい。</p> <p>(1) 高齢者緊急通報システムは、奥出雲町、飯南町でも運用されている。令和 2 年度の契約件数を見ると、飯南町は 184 世帯、奥出雲町は 110 世帯、一方、雲南市は 80 世帯と低い。各自治体の人口規模からすれば、少ないように思うが状況を伺う。</p> <p>(2) このシステムは、65 歳以上または障がい者で一人暮らしの方、あるいは 65 歳以上の方のみの世帯等が対象となっており、さらに住民税非課税世帯との要件がつく。先の両町では、住民税非課税世帯との要件はなく、民生委員の意見を参考にしながら設置されているようであるが、そうした考え方がよいのではないか。</p> <p>(1) 平成 27 年に中国横断自動車道、尾道松江道が開通したが、その後、現在までの R54 沿線商業等の状況をどう見ているか。</p> <p>(2) R54 の沿線振興策として、中国サイクリングロードが整備されている。また瀬戸内海にはしまなみルートが整備されているが、それぞれの利用状況はどうか。</p> <p>(3) 全国道の駅 1 号店の一つである「掛合の里」は、本年度からの指定管理者の応募がない状況となっている。こうした状況に対し、先般、掛合町の 5 つの自主組織で組織する連絡協議会が、掛合町唯一の集客施設であり、そして食事場所であり、町全体の思いとして、是非とも存続させて欲しいとの陳情をされたところである。今後について、市長の施政方針にも述べられているが、レスト&amp;ショップだけでなく、周辺施設も含めて、改めて今後の検討の時期及び方向</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 消防団の退職報 奨金について	<p>について伺う。</p> <p>(4)一般的に指定管理における営業施設は、ゼロ円指定となっているが、周辺地域のそもそも小さな経済の中で民間の発想や企業努力と言っても限界があり、実情に応じ、一定の管理料はあってもいいと思うが、見解を伺う。</p> <p>(1)雲南市非常備勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例において、支給額表が定められている。これによると、勤務年数5年以上から5年刻みで支給額が規定されているが、30年以上と言う区分が最終である。後継者が簡単に確保できないような地域においては、勤務年数が極めて長くなっており、そうした団員に対してはモチベーション確保の一つになると思うので、30年以上と言う最終括りをもう少し延長してはどうか。</p>	
7	4	上代 純子 (一問一答)	1. ヤングケアラー について	<p>(1)大人に代わり、病気や障がいのある家族の介護や幼いきょうだいの世話をする「ヤングケアラー」と呼ばれる18歳未満の子どもへの支援に向けて、厚生労働省と文部科学省がその実態調査を初めて行った。島根大学では「島根県の子どもたちの生活実態に関する調査」の分析をしたところ、島根県内に推計1,000人のヤングケアラーがいることがわかった。中・高生だけではなく小学生も、大人にかわって家族の介護や世話をしなければならない実態が判明している。</p> <p>①そこで、雲南市にこのヤングケアラーについて、現時点でその実態を把握できているのか。</p> <p>把握できている場合は、人数などについて伺う。</p> <p>②国では地方自治体の教育・福祉・介護などの複数の機関の担当者が連携できるように、支援マニュアルを作成することとされている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 地域自主組織の更なる支援について</p> <p>3. 自治会の支援について</p>	<p>ヤングケアラーに関する政府の支援策は初めてだが、雲南市においても、国の取り組みと同様に何らかの支援策を講ずる考えはないか伺う。</p> <p>③ヤングケアラーは潜在化しやすく、支援の手が届きにくいとされている。雲南市では、これらの施策に対応するための専門職員を配置する考えはないか伺う。</p> <p>④ヤングケアラーである将来のある雲南市の子どもたちの支援について、市長は国や県と連携を図りながら、どのように対応されていくのか考えを伺う。</p> <p>(1)地域自主組織による住民主体のまちづくりが展開されている。それぞれの地域に合った活動がされているが、新たな取り組みを行う際に、活動をさらに後押しするような財源的な支援が必要ではないか。</p> <p>(2)地域自主組織の運営や地域活動をされる方々の高齢化が進む。男女を問わず、若い世代が気軽に運営や地域活動ができるようどう対応されているのか。</p> <p>(3)地域自主組織を運営する役員や職員には、任務にふさわしい賃金にすることにより、さまざまな人材を迎え入れることができると感じるがいかがか伺う。</p> <p>(1)自治会の組織力は、まちづくりには必要不可欠であるが自治会への未加入者が増えている。</p> <p>①合併以来、自治会への加入率低下の推移を伺う。</p> <p>②自治会に加入しない理由をどう認識し、対応されるのか。</p> <p>(2)自治会配布物が多く、サイズもバラバラで配布するほうは管理が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 思いやり駐車場の利用について</p> <p>5. 高齢者の食育の推進について</p>	<p>大変だと聞く。 記事や情報の集約化が図れないか伺う。</p> <p>(3) 自治会の戸数の減少や高齢化に伴って、少数世帯の自治会では一人が何役も受け持たないと自治会の運営ができないと聞く。このことが負担となり自治会の運営に支障が出てはいけないと思うがどのような認識か。</p> <p>(4) 世帯数が減少することで、自治会の統合なども考えられる。今後、住民と行政が一体となって「協働のまちづくり」を進めていくために、行政として積極的な支援や提案などの取り組みが必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 島根県では、身体障がい者等用駐車場を必要とする方に利用証を交付し、駐車場を確保できるように「思いやり駐車場制度」を実施している。しかし、利用該当者ではない方が使用され、本来必要とする方が利用できない事例がおきている。</p> <p>①雲南市は、マナーアップに向けた取り組みをどのようにされるのか伺う。</p> <p>②妊娠7カ月から産後1年間の方やベビーカーを利用される方に対するの周知も必要と考えるがいかがか。</p> <p>③中には思いやり駐車場制度を知らない利用該当者の方もいらっしゃると思うので、制度や利用申請の周知はされているか伺う。</p> <p>(1) 食事をひとりでとる「孤食」や、複数で食卓を囲んでいても食べているものがそれぞれ違う「個食」などが増えているが、雲南市の実態を伺う。</p> <p>(2) 食育の取り組みから、この2つの「こ食」に対する対策はどのよ</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				うに考えているか。	
8	1	多賀 法華 (一括)	1. 介護保険事業について	<p>市長は選挙活動の中で、「医療・介護の確保には、人材の確保が必要であり、県と連携しながら取り組んでいく。特に介護人材の確保については、介護事業者間の連携を進め、その相互での協力体制を整備するなど新たな取組にチャレンジしていきたいと考えている」と話されていた。今回の市長施政方針に介護についての事柄がなかったことを非常に残念に思う。介護保険については、雲南広域連合が中心となっているが、私達が安心して暮らしていくためにはなくてはならないサービスであり、広域連合、市、地域包括支援センター、他事業所など連携して取り組んでいかなければならないものと思っている。介護保険事業について市長の考えを問う。</p> <p>(1)短期入所生活介護について 訪問サービス、デイサービスなど不足と思われるサービスはたくさんあるが、中でも短期入所の不足は非常に困るとの話を聞く。第8期介護保険事業計画でもケアマネジャーアンケートで、サービスの供給量が不足していると感じる介護サービスの1位が「短期入所生活・療養介護」とあった。在宅の生活を続けるのに、ご家族の介護負担軽減のためにもなくてはならない重要なサービスである。短期入所は、利用者の方の環境変化への配慮や体調観察、在宅に合わせたベッド周辺環境、持ち物チェックなど長期入所とは違った難しさがある。同計画に代替サービスが受け皿になっているとあり、検討が後回しにされかねない内容となっているように感じる。短期入所のサービスについて市としてはどのようにお考えか。</p> <p>(2)居宅介護支援事業所について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>全国的に居宅介護支援事業所の減少がみられており、団塊の世代が75歳以上に達する2025年問題がせまっているにも関わらず、担当できるケアマネがないというような事態が起こるのではないかと不安視されている。同計画に居宅介護支援事業所の減と書いてあり、雲南市でも事業所の閉鎖がみられている。大東町の事業所の不足の話も聞く。閉鎖の原因は、3人以下の事業所が特定事業所加算の算定が出来ない(2021年改定で特定事業所加算(A)はできたようだが)ための経営困難、標準件数1人35件では経営困難だが、それ以上の件数をもった時の負担や移動距離の問題、いずれ主任ケアマネが必ず必須となることを見込んでの撤退などがあると思われる。また、介護支援専門員自体の不足もこれから大きな問題になってくる。介護支援専門員のなり手不足の原因として、特に「居宅ケアマネは、自分の担当に何かあれば休みに関わらず連絡があるなど24時間365日なかなか心休まる時間がないこと」「5年に一度の88時間の更新研修の負担。(研修会場では休憩時間になると電話対応に追われる方もおられる)」「年々1人暮らし世帯・高齢者世帯が増え、困難事例が多くなっている」「やりがいはあるが、処遇改善もなく、受験者も少なくなっている」などが考えられる。</p> <p>①介護支援専門員(主任)確保育成支援事業(同計画99ページ)が令和元年度から始まっているが、これは、主に潜在的介護支援専門員の復職支援であるため、今話したようなケアマネになりたいと思う方が減っていることの根本的な原因の解決にはいたっていないように思われるが市としてはどう思うか。</p> <p>②都会に比べて地方の移動距離が多いのは以前から言われている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>同計画では交通費の助成についてとなっているが、市からも早く開始できるよう働きかけはあるか。</p> <p>③ケアマネの仕事ではないと分かっているかもしれないことが現場ではある。介護保険だけでは支えきれない部分についてどのように連携していくか。市は待ちの姿勢なのか。それとも、自ら課題解決に向かっているのか。</p> <p>(3)介護人材の確保について</p> <p>①同計画の重点施策に載っている、多様な担い手の就労支援ということで、外国人材の確保とある。長期的な計画とあり、市とも連携が必要と思うがどのように考えているか。</p> <p>②同計画に外国人介護人材の雲南地域への誘導に関する情報共有や広島文教大学との地域連携を活用した人材確保に資する事業とあるが、どんな事業か。またどのようにすすんでいるか情報の共有をしているのか。</p> <p>③同計画に、介護職員の処遇改善について載っている。「介護報酬制度に通じた処遇改善策については、市長会・町村会等を通じ、国に要望するとともに、島根県とも意見交換等を通じ、各種支援策を要望します」とある。先ほどの居宅介護支援事業所の加算や更新研修などのことも介護保険制度上の課題であると思う。現場の声を聞き、他市町村とも情報共有しながら、県と連携し、国に働きかけ、特に2040年まで予防も含め、介護に力を入れていかなければならないと思うが、どう思われるか。</p> <p>④地域おこし協力隊の制度や政策企画部のチャレンジ事業で介護につながるような方を求めることはできないのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 待遇について	<p>(4) 地域共生社会について 同計画の「地域共生社会」、制度や分野ごとの「縦割り」を超えて、どこに相談に行ってもきちんとつながって困り事を解決するという ことで素晴らしいと思う。一方で、どこがメインになって解決する かがあやふやになり、解決しないまま、結局親身になって早く対応 してくれる人にばかりしわよせがいくことがないか心配である が、そのところは大丈夫なのか。</p> <p>(5) 地域包括支援センターの業務について 地域包括支援センターは、社会福祉士、保健師(看護師)、主任ケア マネの福祉・医療・介護の3職種が配置された、65歳以上の方の総 合相談窓口となっている。その中でケアマネの仕事は、大きく、予 防ケアプラン要支援 1, 2 の方のケアプランの作成と地域のケアマ ネ・介護保険事業所・地域の方々との連携・バックアップがある。 包括のケアマネには1人何件までという制限がなく、支援のプラン は介護のプラン作成費の半分くらいである。今回の基本報酬の引き 上げは、1件につき一月70円。業務内容は介護プラン作成と手間的 にはそんなに変わらないケースが多いと聞く。また全国的に予防プ ランに追われて他の業務になかなか手が回らないところがあると聞 く。地域包括支援センターは市の委託であり、他事業所と比べて連 携・協働ができていると思うが、本市の状況はどうか。</p> <p>(1) 雲南市人材育成基本方針の中に、目指すべき職員像があり、笑顔 があり親切丁寧で迅速な対応ができる職員とある。私達が総合セン ターや市役所に行くときは、用事があるから行くのである。私達に とって敷居が高い場所であることをまずは認識していただきたい。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 納税について	<p>もしかしたら、ここだったら相談にのってくれるかもしれない。最後の砦の時もあるかもしれない。そんな時に、「ここは担当ではありません」と電話をきられたり、そんなことも知らないのかというふうな雰囲気の話されたりすると、二度と行けなくなる方もいるかと思う。せめて担当の課に繋いでくれたら、どんなに安心することか、いかがか。</p> <p>(2)各担当の課に行き着いた時、出向いてくれた職員の方が分からないことがある。上司や自分より詳しい方と相談しながら対応されることがある。一回一回こっちとあっちを行ったり来たりするなら、詳しい人の方が前まで来て一緒に話せば良いのにとすることがあると聞いた。人材育成のためなのか。それとも人を見てなのか。</p> <p>(3)一緒に頑張っている民間企業の方に対しての待遇・対応についても色々耳に入ってくる。委託などの官民協働・連携についての考えを教えてもらいたい。もちろん、しっかりと丁寧に対応してくださる職員さんもたくさんおられるが、1人だけでもそういったちょっと悲しくなるような対応をされる方がいると、市役所に相談できなくなるばかりか、他でもそんな風な対応をされたらどうしようとどこにも行けなくなることもあるかもしれない。目指すべき職員像は今もみんなで共有し目標としているのか。</p> <p>奥出雲町も飯南町も、コンビニ収納できるのに、雲南市はできない。納付書で納付の場合、コンビニだと休日に払えるが、雲南市は仕事を休んで金融機関に行かないといけない。自動車税はPayPayで払うとキャッシュバックがあるとのこと。家にいながら簡単に振込手続きができる。雲南市も電子マネーか、コンビニで税金が払えるよう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 発達障がいについて	<p>にならないのか。</p> <p>発達障がいについて相談するところは、学校、病院、すワンなど様々なところがある。が、担当がいないので、色んなところで全部1から話をしては、色んなところへ行かされる。いざと言う時、気軽に相談できないなどの声を聞いた。介護保険制度のケアマネのような存在の検討はないのか。</p>	
9	9	足立 昭二 (一問一答)	1. 地域の特色を生かした地域づくりの推進について	<p>市長施政方針で「人口減少対策の取り組み」について具体策を3点掲げ重点的に進める考えが示された。その一つである「地域の特色を生かした地域づくりの推進」について問う。</p> <p>(1)地域自主組織との協働のまちづくりについて</p> <p>①4月より雲南市地域自主組織連絡協議会や各町地域自主組織連絡協議会との意見交換を始められているがどのような意見が出されているか。</p> <p>②市長は、地域自主組織は市政の基本姿勢である協働のまちづくりを進めるうえで重要な基盤であり、今後とも重視していきたいと述べられた。市長が考える「協働のまちづくり」とは何か。</p> <p>③私も地域自主組織の役割は重要と考える。ただ、雲南市まちづくり基本条例にある「協働のまちづくり」とはなっていないように思う。「協働」＝行政からの市民への業務の下請け、のように見える。市長は、「市政の基本姿勢である協働のまちづくり」に沿った地域自主組織となっていると思われるか所見を問う。</p> <p>④施政方針では「行政組織の見直し」を検討すると表明された。「地域ごとの課題解決を図り、市民に寄り添った行政サービスの提供ができる組織体制が必要との視点に立って検討を進める」と述べられ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 成果連動型民間委託方式(SIB, PFS)について</p> <p>3. 地域医療について</p>	<p>ている。地域自主組織の事業・活動を含めた検討も含まれているのか問う。</p> <p>(1) 成果連動型民間委託方式(SIB, PFS)について 「おせっかい活動を中心とした健康なコミュニティづくり事業」が令和2年度からはじまり、令和3年度以降において市内全域への横展開を図るとされ、本事業の持続的な展開を図るため、民間資金の活用に向けた資金調達手法の導入が検討されている。</p> <p>①民間資金調達方法として「SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)」の活用が検討されているが、SIBはそもそもどのような内容か、本事業ではどのように活用されるのか問う。</p> <p>②内閣府成果連動型事業推進室発行の「成果連動型民間委託契約方式(PFS)を活用してみませんか?」のパンフレットでは、2019年度末時点で島根県では唯一雲南市が活用していると紹介されている。そのPFSの内容と実施した事業内容について問う。</p> <p>③この民間委託方式は、大幅な公費削減や業務見直しを迫られたイギリスではじまったとされている。雲南市として今後も他の事業に拡大していくのか問う。</p> <p>(1) 医師確保対策と雲南市立病院診療体制の拡充について ①2004年(平成16年)の国立大学の独立行政法人化や医師の初期臨床研修の必修化などの影響で雲南圏域の医師不足が問題となった。それから医師確保対策として島根県は3本柱(島根で働く医師を呼ぶ・島根で働く医師を助ける・島根で働く医師を育てる)を中心に取り組み、雲南市も独自の施策で県と共同して取り組む中で医師の確保の取り組みを進めておられる。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 木次線存続について	<p>しかし、2016年(平成28年)の雲南圏域の医師数は80人、人口10万人当たりの医師数は、142.2人と全国平均を下まわっており、県平均は県内で一番少ない実態である。市長はこの現状をどのように受け止めているか、改善策をどのように考えているか問う。</p> <p>②今後の雲南市の地域医療を確保していくためには、開業医の医師の協力も必要と考えるが、市長の所見を問う。</p> <p>③雲南市立雲南病院の地域医療に果たす役割はますます大きくなっている。歯科口腔外科の外来診療は、紹介患者のみで現在毎週火曜日1回の診療となっている。市民のみなさんから「抜歯等の治療はどうしても翌日も診察が必要であり、出雲市や松江市まで診察にいかねばならず困っている、何とか雲南病院の歯科口腔外科をせめて2日診療にしてほしい」と切実な要望を聞いている。最低2日診療できないか市長の所見を問う。</p> <p>(1)4月13日木次線強化促進協議会として「『地方ローカル線』の維持・存続要望」が行われたが、市長の感想を問う。</p> <p>(2)JR米子支社はトロッコ列車おろち号の運行を2023年に終了する方針を示した。市長の所見を問う。</p>	
10	5	鶴原 能也 (一問一答)	1. 雲南市役所で発生したクラスターの拡大防止対策と今後のワクチン接種に係る取り組みについて	(1)残念なことに市民の皆さんに安心して利用していただくはずの雲南市役所でクラスターが発生し、更に再検査の結果新たに4名の陽性が確認された。これにより感染拡大防止のため市役所は閉庁となり、市民生活に大変迷惑を掛けるとともに信用を失う事態となった。市役所職員から感染者が出ることは昨年につき2回目であるが、感染予防の模範となるべき雲南市本庁舎内から感染者が再度発生した遺憾な事実について、	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 雲南市農業ビジョンの進捗状況について</p> <p>3. 雲南市農業振興</p>	<p>①市の感染予防対策に問題はなかったのか、反省すべき点はなかったのか。</p> <p>②再々発防止と信頼回復のため、今後どのように取り組む考えか、具体的な予防対策について、市の見解を伺う。</p> <p>(2)①国のガイドラインに基づき5月24日から80歳以上の皆さんのワクチン接種が開始され、65歳以上の皆さんに対する接種について予約開始日、接種予定日が示された。しかし64歳以下の皆さんに対しては接種順位の考え方が示されただけで、全く白紙の状態であることから、市民の不安を払拭する意味からも早急にワクチン接種計画を策定すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②また、多数の子ども達との濃厚接触が想定される学校の先生等について、ワクチンの有効活用等考慮のうえ早期接種を検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)平成30年度から平成34年度(令和4年度)までの5年間を計画期間として雲南市農業ビジョンが策定され3年が経過したが次の事項について進捗状況及び実態を踏まえた計画の見直しについて伺う。</p> <p>①農業経営の組織化による経営体質強化について</p> <p>②新規就農者の育成確保について</p> <p>③水田農業の振興について</p> <p>④園芸作物生産の振興について</p> <p>⑤鳥獣被害防止の取り組みについて</p> <p>⑥担い手連携組織と地域自主組織が連携する地域づくりについて</p> <p>(1)農用地区域内の農地を転用し、個人住宅、墓地、駐車場などを作</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>地域整備計画について</p> <p>4. 長梅雨予報に対する防災対策について</p>	<p>る場合、農用地区域の変更申出書の提出が必要であるが、次の点について見解を伺う。</p> <p>①雲南省の農業振興地域整備計画策定の考え方と現在の農業振興地域整備計画はいつ策定されたものか。</p> <p>②現在の指定面積は。</p> <p>③市町村は、農用地等の面積、農業就業人口、計画の達成状況など見直しに必要な項目の現況及び将来の見直しについて、概ね5年ごとに調査を実施し、社会情勢の変化に適切に対応するよう農業振興地域整備計画の見直しを行うよう国から指導されているが実施したことがあるのか、また見直しの計画はあるのか。</p> <p>(1)今年も過去2番目に早い梅雨入りだったが、広島地方気象台は梅雨明けは例年並み、相当に長期間となり降水量は平年より多くなるとの3ヶ月予報を発表した。雲南省は土砂災害危険箇所が大変多く、毎年氾濫のおそれのある河川もある、また多くの防災重点農業用ため池が改修工事未着手のままの現状にある。この気象予報に対し災害未然防止の観点からどのように対処される考えか伺う。</p>	
11	16	細田 実 (一問一答)	<p>1. スポーツの推進について</p> <p>2. コロナ禍におけるオンライン会議</p>	<p>(1)市長は所信表明において、スポーツ・文化振興の充実を表明された。所信表明では特に学校の充実を述べられているが、同時に地域での充実を図らなければならないと考える。どのように考えるか。</p> <p>(2)コロナ禍で文化団体は公演の機会もなくなり、衣装、用具等の費用維持も大変な状況が考えられる。活動維持への対策をどのように考えるか</p> <p>(1)コロナ禍において多くが集まったの会議が出来ない状況にある。そうした中でオンライン会議が多用されるようになったが、雲南省</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			などの活用について	<p>の活用状況を伺う。</p> <p>(2) 広報・広聴は行政に欠かせない。市政懇談会などにも活用し多くの市民が参加できるようにすべきではないか。</p> <p>(3) 「市政への提案箱」を設置されるが、要望などもメールで処理できるようシステム構築すべきではないか。</p>	
12	6	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 施政方針について	<p>(1) 人口減少対策について</p> <p>① 移住・定住のさらなる推進について            コロナ禍で、「地方移住・大都市圏の企業オフィス分散化の動きが高まる中、移住に関心を持つ方に雲南市を選んでいただけるよう、積極的な情報発信や環境整備等に取り組む。」とあるが、具体的な取り組み内容は何か。</p> <p>② 大都市圏の企業や個人事業者を対象に、テレワークによる市内への移住・滞在を促進するとともに、若者が求める IT 企業等の事務系企業の誘致に取り組むための具体的な取り組み内容は何か。</p> <p>(2) 地域経済の維持・活性化について</p> <p>① 市内中小企業が、コロナ禍の今後を見据えて取り組むデジタル化の推進による売り上げ拡大や生産性向上に対する支援策とは何か。</p> <p>② また、具体的な支援内容は何か。</p> <p>(3) 地域の特色を生かした地域づくりの推進について</p> <p>① 「地域自主組織は、協働のまちづくりを進める上で大変重要な基盤として重視していきたい」とある。協働のまちづくりでは、地域住民、自主組織との自助・共助・公助が重要であるが、“公助”の雲南市として今後どの様な取組をするのか、具体的な取り組み内容は何か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②地域自主組織への会計システム導入計画があるが、どのような考えで実施するのか。</p> <p>③住民の皆様から税金を納めていただいている上に、更に、色々な負担金(教育振興会費・消防賦課金・消防後援会費・その他)を抛出していただいている状況をどのように考えるか。</p>	
13	2	安田 栄太 (一問一答)	1. 消防団について	<p>雲南市消防団は、本市の防災において重要な存在である。人口減少等に伴い団員確保が慢性的な課題となり、様々な課題の要因となっている。</p> <p>(1)団員確保において、待遇の改善や負担軽減を求める声がある。</p> <p>①税金や公共料金等の軽減や、団員のメリットがあると入団してもらいやすいのでは。また、定住にもつながるのではないか。との声をきいたが、このような大胆な対策をする考えはあるか。</p> <p>②負担軽減の面で、操法大会に向けた訓練のあり方が挙げられているが、どのように対処するのか。</p> <p>(2)組織再編で5分団14部が減った。</p> <p>①三刀屋方面隊中野分団は1部体制になったが、十分な活動ができるのか。</p> <p>②機能別消防団員制度を導入したが、実際にスムーズな消火活動をするために、機能別消防団員同士や部の団員との連携が図れるようになっているのか。</p> <p>(3)運転免許制度改正に伴いポンプ車を運転できない団員が出てきている。また、消防団のほとんどの車両がMT車だが、AT車限定の免許しかない団員は運転ができない。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市内経済について	<p>①準中型免許を所得してもらうことにあたり、費用の負担や助成をするのか。</p> <p>②車両をAT車に更新していくのか。</p> <p>(1) コロナ禍で市内経済の低迷が続いている。市独自の給付金事業など、飲食、宿泊、旅客運送業を中心に市内事業者の支援を行ってきたが、適時に効果的な経済対策を講じていくには、業況を定期的に把握する必要がある。コロナワクチン接種の進行状況と併せて、求められる支援の内容も変わっていくと思われる。</p> <p>①市内事業者の業況を定期的に把握しているのか伺う。</p> <p>②市独自の給付金事業を受けていない事業所の要望もあると思うが、調査をしているのか伺う。</p>	
14	3	児玉 幸久 (一問一答)	1. 市役所における 新型コロナ対策について	<p>本市においては、昨年につづき、本年5月にも職員の新型コロナウイルス感染が確認され、今回は5名以上が感染するクラスターの発生となった。高齢者等へのワクチン接種も始まったが、今後、インド型の変異株の感染拡大も懸念されることから、今回のクラスター発生を教訓として、市のコロナ対策を一層強化していくことが必要と考え、以下について市の見解を伺う。</p> <p>(1) 感染経路、クラスターとなった原因について、きちんと検証がなされているか。</p> <p>(2) 市庁舎への入庁(職員、来訪者)の際の検温、対面での協議をする際(窓口対応含む)の連絡先の確認など、まだ、改善すべき点があると考え。また、感染が拡大した要因として、コロナ感染予防に対する市(職員)の気の緩みもあったのではないか。今後、市としてはどのような改善を行っていくのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 今後の道の駅のあり方について	<p>(3)市職員の感染発覚後、本庁舎の消毒及び本庁2階職員のPCR検査、本庁舎職員及び議員等のPCR検査の実施、2階職員の自宅待機、市庁舎閉鎖などの対応がとられたが、</p> <p>①感染者が確認された2階フロアだけでなく、本庁舎全体として、職員の出勤を限定して対応すべきではなかったか。</p> <p>②議員への情報提供が遅かった。市のリスク管理として、もっと早い段階で議員にも情報を提供すべきではないか。</p> <p>③今回の市の一連の対応について、市長としてどのように評価をしているか。</p> <p>道の駅『掛合の里』のレストラン及びお土産物販売の所については、指定管理の応募が無く、今年度は業務委託による運営とし、今後の施設のあり方も含めて検討することだが、掛合の里も含め、市内の道の駅の今後のあり方について伺う。</p> <p>(1)平成27年に国土交通省より『重点道の駅』に選定され、『地域の人が集まる道の駅』への再生を目指した取り組みがなされたはずだが、どのような取り組みがなされ、その効果はどうだったか。</p> <p>(2)今後、地元、関係者を含めて検討をされるとのことだが、市内だけでなく市外の住民や企業などからも幅広くアイデアを募集してはどうか。全国の道の駅のモデルとなった『掛合の里』でもあるので、全国の同様に困っている道の駅の新たなモデルとなるような活用や、機能を有した道の駅となるよう取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3)市内の他の道の駅も、コロナ禍の影響もあり厳しい経営状況にあると聞いている。また、地元からも機能の拡充についての要望が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 立地適性化計画 について	<p>出ている道の駅もある。他の道の駅についても、同様に今後のあり方を検討していくべきではないか。</p> <p>本市においても、人口減少社会に応じた持続可能な地域構造への再構築を目指して『立地適性化計画』を本年度策定することとなっているが、なかなか市民のみなさまには分かりづらい計画であることから、その概要などについて伺う。</p> <p>(1)『立地適性化計画』とは何か。</p> <p>(2)本市では、都市計画マスタープランにおいて、概ね都市計画区域を中核拠点ゾーンとし、各総合センター等の周辺区域を定住機能エリア、地域生活エリア等に位置付けている。また、各交流センター等を中心に小さな拠点としていく地域構造を描いているが、この『立地適性化計画』の位置付けはどうなるのか。</p> <p>(3)この計画では、『都市機能誘導区域』及び『居住誘導区域』を設定することとなっているが、『居住誘導区域』に周辺部(例えば山間部集落等)からの転居を緩やかに促していくために設定するようにも受け取れる。『居住誘導区域』は何を目的として設定する区域か。</p> <p>(4)この計画は、地域が抱える解決すべき課題を踏まえ、誰を対象に、何を実現するのか・変えるのかというレベルまで、対象と目的を明確化して策定することが求められているが、雲南市では、何に着目して計画を策定するのか。(どのような特徴をもった計画とするのか)</p> <p>(5)誘導区域の設定に併せ、誘導施設についても設定することとなる。この計画で設定した誘導施設については、国の財政支援(交付</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 島根原発 2 号機再稼働問題に関しての市の取組について</p> <p>5. 情報インフラを活用した各種サービスの展開について</p>	<p>金措置)の対象となるが、計画に位置付けなかった都市機能施設の整備については、今後、国の支援が受けられなくなるのか。</p> <p>(6)本計画では、各誘導区域外における住宅建設や開発行為に対して、その規模により届出・勧告制度が新たに設けられることとなるが、その概要を伺う。</p> <p>島根原発 2 号機の再稼働に向けた原子力規制委員会の安全審査が大詰めを迎えている。残念ながら本市は、立地自治体が有する再稼働に同意する『事前了解権』がないが、今後の取り組みについて市の見解を伺う。</p> <p>(1)本市では『雲南市原子力発電所環境安全対策協議会』が設置されているが、何を決定する会議なのかを市民に分かりやすく説明すべきではないか。</p> <p>(2)今後、市としてどのような取り組みを行っていくのか。</p> <p>(3)事業者である中国電力に対して、住民(市民)に対する丁寧な説明をしていただくよう、市として申し入れをしていただきたいが、市長の見解を問う。</p> <p>本年度より、高速・大容量の光通信ケーブルの整備(FTTH 化)が始まり、市内における幹線と、吉田・掛合地区における宅内への引き込みが予定されている。重要なのは、整備した情報インフラをいかに活用して、住民サービスの向上を図るかである。関係各課においてどのような行政サービスの提供に活用できるか、また、民間からのアイディアも取り入れ、きちんと計画を作成し、予算措置をしていく必要があるが、市の取組の現状を伺う。</p>	
15	7	宇都宮 晃	1. 社会的処方によ	(1)本年 4 月 1 日に施行された改正介護保険法は、地域の特性に応	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	<p>る日常生活の改善</p> <p>2. 木次線存続のための取り組みについて</p>	<p>じた「雲南市のデザイン」ともいえる地域包括ケアシステム構築のさらに先の介護ニーズが拡大、多様化し、現役世代が急減する2040年を見据えた内容となっている。私たちは、それぞれに多様な背景や事情のなかで個別の問題を抱えながら生活している。そんな中、多くの悩みのポイントに耳を傾け、薬の代わりに地域とのつながりが生まれるような社会活動を紹介することで解決に導くのが、「社会的処方」という仕組みである。医療機関に相談される問題の2～3割は社会的な問題といわれている。したがって、「社会的処方」が地域の活動、組織の連携を促し、地域共生社会の実現にもつながると考える。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 団塊の世代と呼ばれる人たちが高齢化してきたとき、「社会的処方」の考え方が重要になってくると考える。雲南市ではすでに、地域おせっかい会議、コミュニティナースなどでこの「社会的処方」にあたるすばらしい活動をされている。現在の活動状況、将来の展望を問う。</p> <p>(1) 木次線強化促進協議会の会長である石飛市長は4月13日に沿線自治体の市長、町長、議長名で「地方ローカル線」の維持存続について、地元選出国會議員、国土交通大臣、鉄道局長に要望書を出された。また、4月30日は木次駅前では鉄道利用をPRするチラシを配布された。市長の決意を伺う。</p> <p>(2) 地元住民の利用促進に対する意識の高まり、気概が伝わってこない。機運を高める何かが必要と思われるが、次の一手の考えを伺う。</p> <p>(3) 運行は鉄道会社、維持管理は自治体といった鉄道の「上下分</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 理数系の男女格差について	<p>離」を導入した地域もあるが、これについてはどのように考えられるのか伺う。</p> <p>(1) 日本の科学・技術・工学・数学(STEM)分野における男女格差が半世紀も前から言われてきたが、大学の学部生に占める女性の割合は理学が約28%、工学が約15%である。西側先進国でも男女格差はある。違うことと言えば、欧米では1970年代、80年代に女性研究者を増やすための取り組みが始まっていたことである。早期から小中高におけるジェンダー格差解消に取り組んできた。それまで理数系の授業で教師が男子とのやり取りに多くの時間を使ったり、深い学びにつながる質問をしたりしていることが観察された。相手をしてもらえない女子は結果的に「沈黙」することになる。同じ教室で同じ授業を受けながら教育効果が男女で異なっていた。男女で違う対応をするのは教師たちが「女子は理数系が苦手」という偏見に陥っているからである。そうした無意識の偏見に気づいて、意識的に女子の学びを促す授業につながっていった。一方、日本は文科省が2006年度に「女性研究者支援モデル育成事業」をスタートさせ女性研究者を支援する取り組みを始めたが、次世代へのアプローチはあまりなされなかった。学校現場で管理職や理数系担当の多くを男性教師が占める環境の中で、教師が自発的にジェンダー問題に気付くのは難しい。加えて中学や高校で理数系科目の女性教員が少ない現状は「理数系は男性領域」という印象を子どもに与える。今後、小学校高学年で算数や理科の教科担任制が導入されるが、教員が男性に偏れば小さい時からそのメッセージを伝えることになる。子どもたちが毎日見る光景を「当たり前」と受け入れて成長してい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>くことを鑑みた運用がなされることを期待する。理数系の女性教員が男性と同程度いる学校風景が普通になれば性別に関係なく理数系への興味が湧き、日本の将来に大いに貢献する子供たちが増えるのではと考える。教育長の見解を問う。</p> <p>(2)理数系の男女格差をなくすには、小中高からの地道な教育変革を必要とするのではなかろうか。市長の見解を問う。</p>	
16	8	上代 和美 (一問一答)	1. コロナ対策について	<p>(1) コロナ封じ込めにはワクチンの安全・迅速な接種が必要である。今回のコロナワクチン接種は市にとって大きな事業であり、難しい対応を迫られるが、市民が安心して安全なワクチン接種を受けられるように集団接種と同時に個別接種も進めていただきたい。市ホームページでは集団接種が出来なかった方を対象に調整中とあるがどこまで調整されているのか伺う。</p> <p>(2) ワクチンの無駄が出ないよう有効な活用が求められる。キャンセル対応を各自治体が工夫を行っている。市でも市民が納得いく形でキャンセル待ち登録をするなどして、有効活用すべきではないか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスを封じ込めるには、迅速なワクチン接種と同時に、検査の拡充で無症状者を見つけ出し隔離していくことが大きな鍵である。市では、医療機関や高齢者施設などへのワクチン接種が進みつつあるが、インド株などさらなる変異株も広がってくる。医療機関や高齢者施設、今後、保育園、学校なども含めて社会的検査が必要だ。また、広島県で実施されている全県民を対象にした「いつでも、何度でも、無料で」のPCR検査が出来るように県に求めるべきと考えるが見解を求める。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 生理の貧困について</p> <p>3. 原発問題について</p>	<p>(1) コロナ禍で、経済格差がますます広がる中、「生理の貧困」という言葉がクローズアップされてきている。新型コロナウイルス感染拡大にともない雇用状況が悪化し、生活必需品である生理用品を購入できず、交換の回数を減らしたり、トイレットペーパーを代用するなどの実態がマスコミでもネット上でも取り上げられている。とてもデリケートな問題であり、日本では生理についてタブー視されており、声にはなりずらいが、母性保護の観点からもこの声なき声を市として支援すべきである。具体的には、小中学校女子トイレへの生理用品を設置していただきたいが見解を求める。</p> <p>(2) 困っている人誰もが支援を受けられるように全国の自治体でも工夫がされている。米子市では市役所庁舎女子トイレや検診会場となる施設の女子トイレに引き換えカードを置き、そのカードと引き換えに生理用品現物を支給する支援を行っている。この声なき声を受け止め、誰も取り残さない、誰もに優しい雲南市として独自の支援行うべきである。見解を求める。</p> <p>(3) 生理は特別なことではない。子どもを産み育む性として当然な生理的現象である。現在ではどこのトイレにもほぼトイレットペーパーが設置してありそれが当たり前になってきているが、生理用品もトイレットペーパーと同じ感覚のものである。ジェンダー平等の視点で考えれば、母性を保護することは社会全体の役割と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 島根原発2号機の再稼働に向けた原子力規制委員会の安全審査の実質的な審議が終わり、正式な審査合格が大詰めを迎えている。「同意」手続きが近づいているが、周辺自治体として今後どのような</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				スケジュールで進められていくのか伺う。 (2)子育て中の女性たちを中心に学習会や映画会が行われ市民一人ひとりの問題として、原発問題に向き合っておられる。市長も議員も再稼働に対して可否を求められることになる。市長自身、福島原発の過酷事故、そこから起こる現在の諸問題についてどのような見解をおもちか、率直に伺う。	
17	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. 感染症に対する 危機管理等について	5月22日に、市内で19例目(市外在住者を除く)となる新型コロナウイルス感染症患者が確認された。同階フロアで勤務職員のPCR検査を行った結果さらに陽性者が確認され、市役所本庁は閉庁。安全が確認でき次第、業務を再開するとした市長からのメッセージがあった。 (1)開庁の判断について 市長は、メッセージの中で「安全が確認でき次第」と開庁のタイミングについて説明された。25日には、「すべての職員のPCR検査を実施し、すべて陰性であることを確認しましたので、本庁舎2階を除き、26日水曜日より通常どおり開庁し業務を開始いたします」との発信をし、26日に開庁された。翌日にはPCR再検査により陽性者が確認されたために再度の閉庁となった。すでにクラスター化している状況下では、より慎重の判断をするべきであったと考える。市長の判断の基準について伺う。 (2)危機管理について ①昨年7月21日に本庁勤務職員の新型コロナウイルス感染が確認され、同24日にはさらに2名の感染が確認された。この時も閉庁の措置がとられ、本庁勤務の職員のPCR検査を実施。検査結果が	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>出るまでの間、閉庁された。今回の2度目の閉庁に対して多くの方から意見を頂いた。そして1日おいての3度目の閉庁。これに対しては危機管理の甘さを指摘する意見を多くいただいた。これまでの感染症に対する危機管理はどのようになっていたか伺う。</p> <p>②5月22日に、2階フロアでの陽性患者が確認されたが、当該部署に頻繁に訪れていた方からは、感染に対する不安の声をいただいた。来庁者の中で不安な方々に対する相談体制が27日まで取られていなかった。行政の最大の責務は市民の生命財産を守ることであると考える。感染力の強い変異株の事を考えると対応があまりにも遅いと感じる。どのような判断での対応かを伺う。</p> <p>(3)感染予防とワクチン接種等について</p> <p>①閉庁措置がとられた24日は、コロナウイルスワクチンの集団接種が開始される日であり、70歳以上の予約開始の日であった。特に予約については、「閉庁になり電話での予約は大丈夫か」との問い合わせがあった。市長のメッセージの中には接種に対することはあったも、予約についての文言がなかったように思う。閉庁時の電話予約の状況を伺う。</p> <p>②感染予防の呼びかけの中にマスクの着用がある。感染患者の状況説明には「マスクは着用されていました」と記されている。しかし正しく着用して初めて効果を発揮するものである。鼻を出していてもマスクを着用しているとなる。今後徹底して正しい着用を啓発していく必要があると考える。</p> <p>ア)マスクの正しい着用について、医療的見地を市立病院に聞く。 イ)市役所職員に対し今後どのように啓発すべきか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 軽自動車税について</p> <p>3. おんせんキャンパスについて</p>	<p>近年、全国的に軽自動車の需要が多くなってきている。中古自動車を販売する業者においては、自動車登録番号標をつけたままで展示していることも多く、課税の対象となっている。</p> <p>(1)直近の本市における乗用、貨物を合わせた4輪軽自動車の課税台数と課税額を伺う。</p> <p>(2)平成12年に旧加茂町、三刀屋町、吉田村、掛合町が、商品であって使用しない軽自動車(販売目的の中古車)の免除規定を税条例から削除され、合併後の雲南市税条例でも規定されていないが見解を伺う。</p> <p>(3)市税条例第89条には、市長は、次の各号に該当する軽自動車等のうち必要と認めるものに対しては、種別割を減免する。第2号にその他市長が必要と認めるものとある。</p> <p>在庫台数によっては、かなりの負担が事業者にかかってくる。商品であって使用しない軽自動車(販売目的の中古車)に対して、減免及び免除する事について市長の考えを伺う。</p> <p>おんせんキャンパスを利用していた生徒の保護者から、素晴らしい人たちに出会えてよかった。との声を頂いた。</p> <p>(1)在籍学校との連携による学習評価や出席扱いを目指すとされているが、現在の状況を伺う。</p> <p>(2)市内在所の高校は県立4校、その他1校と認識している。おんせんキャンパスの位置づけとしてこの中にカウントできるかどうかを伺う。</p> <p>(3)小中学校の特別支援学級と出雲養護学校雲南分教室、及び特別支援教育に関わる高校との連携の中におんせんキャンパスやその他</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				1校の明蓬館高校を巻き込み、多様化する特別支援教育に対して柔軟に対応できるネットワーク構築ができないかと考えるが見解を伺う。	
18	15	周藤 正志 (一問一答)	1. 公約と目標・成果指標について             2. コロナ対応について	(1)人口減少対策 「人口減少に歯止めをかけ、増加に転ずることができる」とされたが、目標とする人口、出生数、合計特殊出生率、社会増(特に若者)を明らかにし、実現への施策と道筋を問う。 (2)地域経済の活性化 ①「経営基盤の強化や物流改革により収益性を高めるなど農業振興を地域経済活性化につなげていく」とされたが、農業産出額、担い手数、農業所得、耕作放棄地の復元などの目標はどうか。 ②コロナ対策を除くと、地域経済の要である商工業振興、中小企業振興策がほとんど示されていない。ウイズコロナ時代、人口減少社会の地域経済をどうするつもりか。 ③「コロナ廃業ゼロを目指す」とされたが、現状どうなのか。 ④「周辺地域を活性化させ、市全体の賑わいを取り戻す」とされたが、何がどうなれば周辺地域の活性化となるのか。指標と具体的方策は何か。 (1)市役所でクラスターが発生したが、危機管理及び感染防止策のどこに問題があったのか。 (2)市長・副市長のワクチン優先接種への対応に問題はなかったのか。 (3)介護職、教員、保育士等へのワクチン優先接種をすべきではないか。	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 適正な入札について	(1) 市(広域連合、事務組合を含む)の入札に関して、公正な競争や透明性が確保されているのか。また、利害関係者との接待や癒着はどうか。 (2) 市の入札での一番の問題点は落札率が高いことである。原因は何で対策をどうとるのか。 (3) 予定価格が事前公表に変更されたが、庁内手続と方針決定に問題はなかったのか。	
			4. 東部四市市長フォーラムについて	東部四市の市長が新しく替わられた。今後、連携や切磋琢磨しなければならないことから、四市長によるフォーラムを開催し、広く関係市民に情報発信したらどうか。	